

ひたちおおた **てくてくウォーク** ⑥

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

いので きょうわ まさか 天神林町（猪手・協和・間坂）ハイキングコース

⑥ 稲村神社



本年3月号の「ちよつと寄り道」コーナー（P9）で「雷神社の雨乞い神事」として取り上げたことがある稲村神社。参道がすごく長く芬囲気がある。一人で落ち葉を掃くと半日かかるそうです。

⑤ 馬坂城跡



大きく見ると溝や山の形から昔の城壁や堀の形が推察され、周囲に古墳もある。

④ 甲子塔



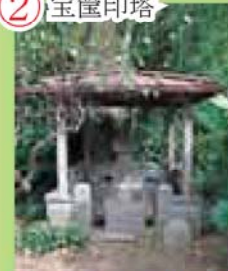
民間信仰の碑ですが根本に「至久米やみぞ」とあり道標を兼ねる。

① 巡礼坂



本来佐竹寺の参道だった。

② 宝篋印塔



市の有形文化財の指定を受けている。

③ 庚申供養塔



農業の神を祀る供養塔。庚の申の日に現在も供養している。



今回は天神林町を歩きます。天神林町は歴史的な建築物や石像などが多く見られ、早くからエコミュージアム活動に取り組み、お宝マップの作成や看板の設置などを行い、歩いていて見所に困らない地域です。今回は猪手・協和・間坂地区を紹介します。

佐竹寺前の天神林町集落センターに車を停めて巡礼坂を下り始めると、看板がそここにあり石碑や石塔などが見られます。また間坂地区は城跡だったことから山全体の形に注目すると、当時のお城などが色々と想像できます。最後に坂東三十三観音二十二番札所にもあたる佐竹寺まで登ってくるとゴールは目の前です。

ぜひ、歴史的な見所の多い天神林町をのんびり散策して、悠久の時の流れを感じてみてはいかがでしょうか。

表紙に
よせて

新そばの季節がやってきました。「常陸秋そば」の発祥の地である常陸太田では、「常陸秋そば」を味わえる様々なイベントが開催され、市外からも多くの方が訪れます。自慢の手打ちそばのメニューが並ぶ市内のそば店を巡ると、いろいろなお店のそばの味を楽しむことができます。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒 313-8611 常陸太田市金井町 3690
☎ 72-3111 (内線 303・304) Fax72-3002

*広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています